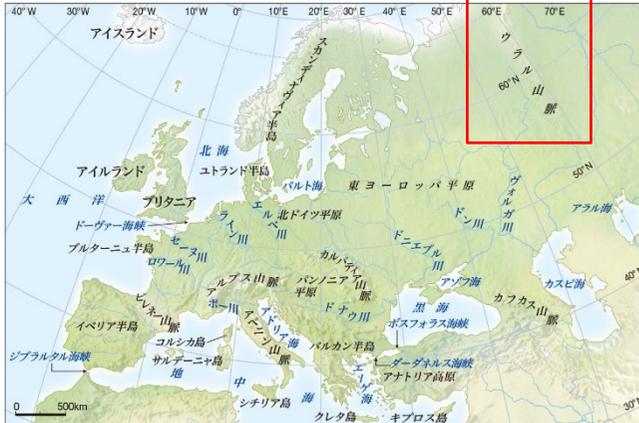


高等学校「詳説世界史(世探704)」

訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
ページ	行			
57	史料の 問い	エリュトラ海は直訳すると紅海	エリュト <u>ウ</u> ラー海は直訳すると紅海	表記の統一
91	地図			「ウラル山脈」の文字位置をより適切な場所へ変更
137	14	<small>りょうが</small> 遼河上流域で <u>半農半牧</u> の生活	<small>りょうが</small> 遼河上流域で <small>ゆうぼく</small> <u>遊牧</u> 生活	二重統治体制に関する記述との整合性なども考慮して、よりわかりやすい表現に変更
138	1	政変に介入して、	削除	字数調整のため

高等学校「詳説世界史(世探704)」

訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
ページ	行			
158	9～10	とくにアジア産の香辛料は <u>重宝</u> されたが、東地中海に勢力を拡大していたオスマン帝国を經由して輸入されたため高価であった。	とくにアジア産の香辛料は、 <u>遠方からイスラーム圏を經由して輸入されたため高価であったが、人気の商品であった。</u>	マムルーク朝の存在なども念頭におき、当時の状況により適切な表現に変更
159	地図			上記と同じく、当時の状況により適切な形に変更
189	14	オランダは、東インド会社などの貿易特許会社 1602～1798	オランダは、東インド会社などの貿易特許会社 1602～1799	より適切な年代に変更

高等学校「詳説世界史(世探704)」

訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
ページ	行			
202	23	影響をおよぼしつつ <u>繁栄</u> した。	影響をおよぼしつつ <u>繁栄</u> した。	誤記
209	註⑦	イギリスとの <u>戦争</u> に敗れて	イギリスとの <u>争い</u> に敗れて	イギリス＝オランダ戦争の勝敗の捉え方なども考慮して、より適切な表現に変更
269	図版キャプション	<u>ビリャは農民運動指導者でもあった。</u>	<u>サパタはメキシコ南部地域、ビリャは北部地域の農民運動指導者であった。</u>	サパタにも触れるかたちでより詳細な説明に変更
270	8～10	<sup>こうゆうい</sup> 康有為は、 <u>日本やロシア</u> にならった政治体制の改革をと なえ、…(中略)… <sup>こうしよてい</sup> 光緒帝の支持のもとで、	<sup>こうゆうい</sup> 康有為は日本の <u>立憲君主制</u> にならった政治体制の改革 をとなえ、…(中略)… <sup>こうしよてい</sup> 光緒帝の支持のもと、	康有為はピョートル1世の改革についても言及しているが、より当時の状況に適切な表現に変更
279	註③	イタリアへ「未回収のイタリア(→p. 230)」 <u>やフィウメ</u> の 獲得を約束した。	削除	誤記

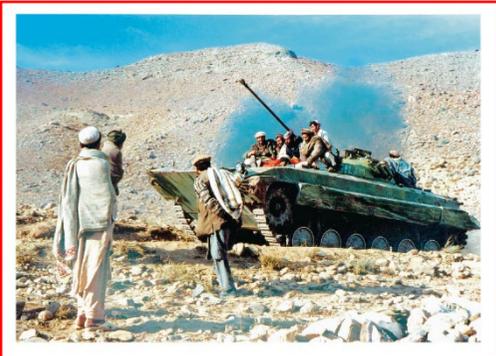
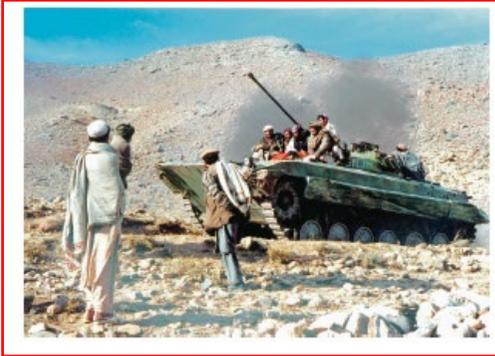
高等学校「詳説世界史(世探704)」

訂正箇所		原 文	訂 正文	訂 正 理 由
ページ	行			
288	3～5	<p>大戦後のヨーロッパでは、<u>講和 内容に変更を加えようとする動きや武力紛争も各地であいついだ。イタリアでは、</u>  <u>ロンドン条約に反してフィウメがユーゴスラヴィア領と</u>  <u>なったことへの反発が高まり、</u></p>	<p><u>ルール占領によるフランスとドイツの対立は、ヨーロッパ</u>  <u>の緊張をとくに高めるものであった。これ以外にも、大戦</u>  <u>後のヨーロッパでは 講和 内容を変更しようとする動き</u>  <u>や武力紛争が各地であいついだ。イタリアでは、戦勝国と</u>  <u>なったものの期待した領土拡大を実現できなかったこと</u>  <u>への不満が高まり①、</u></p> <p>(註を新設。以下、註番号を繰り上げ)</p> <p><b>①</b>イタリアは、<u>ロンドン条約 (→p. 279) で約束された「未</u>  <u>回収のイタリア」に加えて、イタリア系住民の多いアドリ</u>  <u>ア海沿岸の都市フィウメの領有も要求した。しかし、パリ</u>  <u>講和会議では要求したすべての領土の獲得は認められず、</u>  <u>フィウメもセルブ＝クロアート＝スロヴェーン王国領と</u>  <u>された。</u></p>	<p>ロンドン条約に関する記述からフィウメを削除したことにもなう修正。およびフィウメに関する説明の追加。</p>
288	8～9	<p>20年にはポーランドがソヴィエト＝ロシアを攻撃し、</p>	<p>20年にはポーランドが<u>領土拡大をめざしてソヴィエト＝</u>  <u>ロシアを攻撃し、</u></p>	<p>字数調整のため</p>
288	11～12	<p><u>なかでもルール占領を頂点とするフランスとドイツの対</u>  <u>立は、ヨーロッパの緊張をとくに高めた。</u></p>	<p>削除</p>	<p>同頁 3～5 行目の修正に関連して修正</p>

高等学校「詳説世界史(世探704)」

訂正箇所		原 文	訂 正文	訂 正 理 由
ページ	行			
288	24～27	イタリアは戦勝国であったが、期待していた領土拡張がパ リ講和会議で実現できなかったため、世論は大战の結果 に不満をいだいた。…(中略)…地主・工場主・軍部・ 官僚などの支配層の対立も激化した。インフレーションが 進むなかで、	イタリアでは、大战の結果に不満をいなく世論を背景 に、…(中略)…地主・工場主・軍部・官僚など支配層 との対立が激化した。インフレーションも進むなかで、	同頁 1～3 行目の修正に 関連して修正
302	30～31	国会も圧倒的多数で全権委任法を成立させ、	削除	当時の状況を考慮し、よ り適切な表現に変更
318	2～3	49年3月には国民政府の首都である南京を占領	49年4月には国民政府の首都である南京を占領	より適切な月に変更
333	地図	ビエンチャン	ヴィエンチャン	表記の統一
344	15	カーター大統領 1924～ (在任 1977～81)	カーター大統領 1924～2024(在任 1977～81)	生没年の更新

高等学校「詳説世界史(世探704)」

訂正箇所		原 文	訂 正文	訂 正 理 由
ページ	行			
344	図版			戦車付近の煙など全体的に色調を調整
355	5	パレスチナ問題 →p. 350	パレスチナ問題 →p. 352	誤記
356	13	トランプ 1946～ (在任 2017～21)	トランプ 1946～ (在任 2017～21、 <u>25～</u> )	在任年の更新
369	年表	日本 ○仏教伝来 <u>593 厩戸王 (聖徳太子)、摂政となる (~622)</u>	日本 ○仏教伝来 ○厩戸王 (聖徳太子)、 <u>政務に参加</u>	当時の状況を考慮し、より適切な表現に変更
376	年表	南・北アメリカ、西欧 <u>51 ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体 (ECSC) 発足／太平洋安全保障条約 (ANZUS)</u>	南・北アメリカ、西欧 <u>51 太平洋安全保障条約 (ANZUS)</u> <u>52 ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体 (ECSC) 発足</u>	より適切な年代に変更

高等学校「詳説世界史(世探704)」

訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂 正 理 由
ページ	行			
376	年表	南・北アメリカ、西欧 21 米大統領にバイデン	南・北アメリカ、西欧 21 米大統領にバイデン <u>(～25)</u>  25 <u>米大統領にトランプ再任</u>	年表の更新
377	年表	中国・韓国 22 韓国、尹錫悦大統領	中国・韓国 22 韓国、尹錫悦大統領 <u>(～25)</u>  25 <u>韓国、李在明大統領</u>	年表の更新
384	索引	人権宣言…………… <u>215</u>	人権宣言…………… <u>213</u>	より適切な参照先に変更
388	索引	フィウメ…………… <u>279, 288</u>	フィウメ…………… <u>288, 289</u>	誤記